

令和3年度「モールス実習Ⅱ」シラバス

校長	教頭	教頭

科目名	モールス実習Ⅱ			教科名	工業（情報通信系列）
学年	3年	単位数	3単位（105時間）		

1 科目「電気通信術」について

学習の到達目標	・モールス信号の送信・受信技術を習得する。
使用教科書	なし

2 科目全体の評価の観点の趣旨

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
・モールス通信に関する技術に興味・関心をもっている。 ・送信・受信に関する学習に取り組み活用する意欲をもっている。	・モールス符号を正確に暗記している。	・電報形式での和文・欧文の送信・受信ができる。	・電報形式での送信・受信方法を理解している。
出席状況、提出物 平常の学習活動 学習態度、自己評価	ペーパーテスト 集中力	発表表現能力 集中力	ペーパーテスト

3 観点別学習状況の評価の数量化

評価	内容	判定基準	得点
A	十分に理解できていると判断されるもの	80%以上	3
B	おおむね満足できると判断されるもの	50%～79%	2
C	努力を要すると判断されるもの	50%未満	1

4 各学期及び学年の評価方法

各学期及び学年はシラバスに記載する。また、5段階評価においては以下の通り

評価内容	100点法	5段階評価
十分満足できると判断されるもののうちで、特に高い程度のもの	100～81	5
十分満足できると判断されるもの	80～66	4
おおむね満足できると判断されるもの	65～51	3
努力を要すると判断されるもの	50～35	2
努力を要すると判断されるもののうち、特に程度の低いもの	34～0	1